

令和2年6月

一般社団法人 日本スクーバダイビング協会

新型コロナウイルス感染リスク低減の為の器材管理について

現在新型コロナウイルスが世界的に拡大し、日本国内においても緊急事態宣言が出されるような状況になりましたが、5月に入り一部地域で緊急事態宣言が解除されるなど、状況改善に伴い、ダイビング活動が出来る地域も徐々に増えてくるものと思われます。ダイビング活動再開に伴い、各ダイビング指導団体や関連団体からも活動を再開する上でのガイドライン等も発表されております。当協会としても、ダイビング活動再開に際し、感染リスク低減のための器材管理をお願いいたします。

1、個人所有・個人使用の器材について

ダイビング器材（レギュレーターセット、BC、マスク、スノーケル、グローブ、ブーツ、スーツ等すべて）は機能維持のため、使用後の塩分や汚れを洗浄し、適切に乾燥し、保管する必要があります。そのため、各器材の取扱説明書には、使用後の管理方法（洗浄、乾燥、保管等）について記載されておりますが、感染リスク低減のためには、更なる注意が必要となります。

まず、洗浄の際には、個別の桶を利用したり、水道蛇口から直接放水される綺麗な水を使って実施して下さい。共同の桶などを使わないで下さい。また、洗浄後の乾燥は、密閉された空間（乾燥室など）を避け、他人の器材との距離を十分にとって行って下さい。保管においても、バッグ等に入れ、飛沫感染などを避けて保管して下さい。

器材によって、基本的な洗浄・乾燥・保管方法は異なりますので、必ずご使用の器材の取扱説明書に従って下さい。詳しくはご使用の器材メーカーにお問合せ下さい。

2、レンタル器材や、他人が触ったり使用した器材について

レンタルなど含め他人が触ったり使用したダイビング器材（レギュレーターセット、BC、マスク、スノーケル、グローブ、ブーツ、スーツ等すべて）は、感染リスク低減のため、消毒が必要となります。作業は、手洗い・手の消毒（手袋を使用の場合は手袋表面の消毒）、マスク、ゴーグルなどによる飛沫等の感染防止対策を行った上で実施下さい。

器材それぞれによって、使用する消毒剤・消毒方法・洗浄方法が異なります。レギュレーター2NDステージ、オクトパス、マスク、スノーケル、BCなど、呼気による器材内部への汚染の可能性がある器材は、器材表面の消毒だけでなく、内部まで消毒が必要となる場合がありますので器材の特性に合わせ注意して実施下さい。詳しくはご使用の器材メーカーにお問合せ下さい。

一般的に消毒剤・洗剤類は、それぞれ決められた用法用量を守らないと、人体に重大な被害を及ぼす危険性があります。また、器材の部品についても劣化促進、変色、溶解などを引き起こし、器材が正常に使えなくなる原因にもなり危険です。詳しい消毒・洗浄方法について、必ず、ご使用の器材メーカーにお問合せの上、正しくお使い下さい。

また、ダイビング中の感染防止対策につきましては各指導団体の指導などに従ってご使用下さい。

新型コロナウイルスは、発生から間もないため解明されていない点も多く、規制や疫学情報も常に変化しておりますので、政府機関や地方自治体などからの情報に留意して活動頂きますようお願いいたします。

以上